



みくびだより

平成9年12月1日
御首神社社務所

御挨拶

謹啓 師走の候、皆様方におかれましては愈々御健勝の事とお慶び申し上げます

天皇・皇后両陛下におかせられましたは今年八月下旬、岐阜県に行幸啓の栄を賜わり、県民の熱烈な歓迎をお受けになられ、無事還幸なされましたことをお喜び申し上げますと共に県民の一人として至極光栄に存じ上げる次第であります。

昭和六十三年三月の御首神社崇敬会発足より十年を迎え本年度の崇敬会大祭には多数の会員の皆様にご参列頂き、厳肅な祭祀の齋行により創立十周年を御神前にご報告致し併せて会員御家族の家内安全、生業繁盛、子孫の繁栄等の祈念をさせて頂きました。又、記念事業と致しまして崇敬会より境内社に御影石の社標をご奉納頂きましたことを、ご報告させて頂くと共に厚く御礼申し上げます。今後とも会員の皆様のご協力を賜り、尚一層充実した崇敬会となりますよう努力精進いたす所存でございます。

さて、「みくびだより」は昭和六十三年十二月の創刊より崇敬会の皆様方のご意見ご感想等を参考に致しまして現在の形態となっております。次回発行で二十号を迎え人に例えるなら成人となります。成人らしく今後一層内容の充実を計り、皆様方のニーズに比べられる社報を発行致したいと考えております。皆様方の更なる御意見、御感想をお寄せ下さいます様お願い申し上げます。

世界的規模での天変地異の多発や、経済低迷の厳しい時代ではありますが、皆様には大神様の御神徳を受けられ、愈々御健勝、御発展なさいますことを心より祈念致しまして、ご挨拶とさせて頂きます。

『中心』

人の生命を始め、動植物等在りとあらゆる生命には眼界があります。物体（岩石や銅物）でも年月が進めば風雨に晒され、朽ち損なわれ徐々に形を変えてまいります。これと反対に現在まで幾億年と変わらぬ動きを続けているものがあります。即ち太陽を中心とした惑星、地球、月、その他の星の動きであり、これは宇宙の真理であります。

例えば太陽と地球の間、又地球と他の星との間には、お互い引き寄せる力と反対に遠ざかるうとする力が働いており、お互い複数の個々の星と星は遠心力と求心力とが見事に調和をして、どの星とも衝突せずに個々の軌道を廻り続けています。

このように永遠に変わらぬものが宇宙の真理なのです。その真理に従って地球も四十五億年もの間活動を続けており、総ての事柄がお互いに反対の働きの中に調和をはかり成り立っているのです。



光と影、火と水、陽と陰、動力とブレーキ男と女、吸う息と吐く息等々数え上げれば際限がありません。

「調和」とはつまり「つり合い」がとれていることでそこには必ず「中心」というものが有ります。

世界の平和はスイスに本部を置く国際連合が中心となつて全世界に「にらみ」を効かせております。

一方日本の国民の精神の中心は何と云つても「天皇さま」です。「天皇」を奉戴しているのは世界のどの国にも無く日本国だけなのです。

有難いことに「天皇さま」は何時でも国民の安泰、平和を祈念され国際の親善やご公務に精励なさつておられます。又国民は天皇さまを中心にして「心のよりどころ」とし、より良い国づくりに努力を続ける、そこに美しい調和が見られる訳であります。

それでは各ご家庭での中心は何でありましょう。夫でもなく妻でも子供でもありません。やはり「神棚」を中心とした家庭のおまつりではないでしょうか。

我が国の経済は世界に類を見ない発展を遂げており現在では飽食の



時代と云われ、物質文明のもとに物余りの時代、そして年を追う毎に益々増えてゆく「ごみ」の量の多い現状を見る時、将来に対して一抹の不安を抱く人々も多いと思います。

特に我が国は経済大国などと、もてはやされ続けた結末、バブルの崩壊を招くに至ったのです。「オウム」の狂気沙汰に続き、凶悪な犯罪が続出し最近では神戸の中学生の連続殺人事件等々、想像を絶するような事件が多発してまいりました。あまりにも痛ましい混濁の世の中でありませう。

これらの現象の原因をよくよく考える時、教育問題・環境問題など数え上げることが出来ますが、究極的に云えば家庭の中心の「ずれ」の結末ではなからうか、云い換えれば家族制度の崩壊なのであります。元来我が国は稲作中心の家族制度が確立された国で、二千年余りに亘りこの制度が継承されてまいりましたが、戦後になり徐々に核家族化が進み、現在ではほとんどの家庭が夫婦単位での生活となつております。其の夫婦の家庭にどれだけの「神棚」がお祀りしてあるでしょうか、おそらく数パーセントに満たないことと思われませう。「神棚」が無いということはその家の「中心」が無いということ、当然バラバラが崩れるでしょうし物事の考えも必然的に狂つてまいります。

それに比べ家族制度では、人生のベテランである老人達と共に暮らすことによつて貴重な体験や生活の知恵など見習う面も多く、仮に若者達が間違つた考えを持つたとしても即座に矯正してもらつて利点があります。勿論「神様」と共に生きる実践なども豊富に持つておられる筈です。

物質優先主義、個人の利益の追求の結末やがては各自の「つけ」が廻り、行く末は国の基盤そのものも崩れるような気がします。

冒頭にも述べましたように大宇宙の真理に従つて、わたしたちは今一度、家庭の中心は何であるかを考え直し、「神棚」を中心として一人ひとりがお互いに、心を一つに理想的な家庭づくりを努力精進したいものであります。

禰宜 上松 雅之

ちよつと一言

こんにちは、社務所より一言申し上げます。

御首神社からお渡しする祈禱串（紅白串）について、よく皆様から「これはどういった所にお祀りをすればよいのですか」「古くなつた場合はどうすれば良いですか」「自分たちの氏神さまの左義長の時にお焚き上げしてもよいですか」等の質問をお受けすることがあります。神社で御祈禱を受けられた方にお渡しする紅白串には（〇月）と記入してあります。これは皆様のご祈禱をお受けになられたことに対しまして、何月に当社で御祈禱をいたしましたという証です。おやしろのみ扉の前にお祀りされまして、神様に御祈禱のご報告をして下さい。又、神具店には小さきままな宮形が揃つておりますので、神棚のないご家庭では御祈禱を受けられた機会にお求めになり、御首神社の御神符をお祀りされる事をお勧め致します。

また諸般の事情で神棚をお祀り出来ないご家庭では清浄な場所（机、棚等の清浄な場所）に申をお祀りされまして、お参りをして下さい。さて、月が変わりましたら紅白串は当神社へご参拝の折り、賽銭箱



の横に設置してあります。返納箱、或いは社務所までお持ちください。また、ご都合で参拝出来ない場合は郵送して頂ければ幸いです。返納頂きましたら、紅白串は二月節分の日に執り行われる浄火祭にて、帽子・絵馬・金幣串と共にお焚き上げ致しますので是非御参拝下さい。

権禰宜 谷口哲也

祭事報告

▼西宮神社（相殿）例祭七月十七日午後三時
 ▼末広稲荷神社祭 八月四日 午後三時
 ▼夏越大祓式 八月四日午後三時半
 ▼長寿祈願祭 九月十五日午後三時
 大垣市内で今年八十八歳（米寿）・九十九歳（白寿）になられた方をお招きして、氏子及び崇敬者の皆様方の長寿・健康を大神様に祈願致しました。

▼神明神社（境内社）例祭十月十七日午後三時
 ▼七五三詣り 十一月一日〜三十日
 十一月に入りますと、晴着を着た大勢の子



供達が両親、祖父母に連れ添われ御祈禱を受けていかれ、特に九日の日曜日には参拝が多く境内でぬいぐるみと握手したり、コリントゲームで遊んだりして終日

▼崇敬会大祭 十一月三日 午後一時
 ▼新嘗祭 十一月二十三日 午後三時

権禰宜 谷口 哲也

崇敬会十周年記念の式典行われる

紺碧の青空の下、菊の香薫る文化の日、定刻の一時には拝殿に溢れんばかりの参拝者をお迎えて創立十周年を記念し、例年にも増して厳



ご来賓の祝辞を頂きました。

午後三時から特別講師としてお招きした良天神神社宮司木村照先生のご講演「神をまつる心」を多数の参加者が身じろぎもせず喰い入るように見詰め、時間の経つのも忘れるくらい熱心に聞き入っておられたのが大変印象的でした。

肅に祭典が執り行われ、餅せて「舞楽」の奉納を頂き大変優雅な雰囲気になりました。祭典終了後場所を近くの地区センターに移し、多年崇敬会に功績顕著な十名のお方に表彰状の贈呈が行われ、宮司の挨拶に引き続き

禰宜 上松 雅之

イギリスからこんにちは

近頃では世界的に日本の文化が脚光を浴びてまいりました。

東京や京都など有名神社では観光目的での参拝者が多く見受けられます。

当神社ではこのたび氏子の勧めで、イギリスから来日中の国立ウオーリック大学で教鞭を戦っておられるデイビス博士とラッケルス博士が日本では初めて健康祈願のご祈禱を受けられることになり、当神社でも初めてのことで紹介者に通訳してもらいながら応対に大わらわでした。

両博士とも生活習慣の違いで座ることも出来ず「ぎこちなさ」は見受けられましたが、神妙な面持ちでのご祈禱を受けていかれ満足そうなお顔でした。



又、感想としては神社の神殿が全て木造でヨーロッパ建築とは対称的に日本独特で古来の伝統がすべて神社に集約されており大変興味深いものがありました。そして宮司のご祈禱の動作等がとても厳かで感動を受けたと云われ、ヒヨコンと頭を下げて帰って行かれました。

権禰宜 谷口 哲也

「左義長」「浄火祭」 「焼納感謝祈禱」

について

当神社では、左義長・浄火祭・焼納感謝祈禱を執り行っておりますが、それぞれ祭りの意味が異なりお焚き上げする物が違います。

▼「左義長」

一月十五日 午前十時

氏子並びに崇敬者が一年間の家内安全や無病息災等に感謝し、御守護戴いた御神符や御守縁起物の熊手や破魔矢、正月にご家庭で飾られたメ縄、メ飾り等のお焚き上げを行い今年の無事を祈るもので、一月十五日に限り執り行われる祭祀であります。



▼「浄火祭」

二月節分 午前十時

崇敬者が病氣平癒や入学試験合格、就職試験合格、健康、厄祓等の諸祈願をされた一年

分の絵馬、帽子、金幣或いは返納された紅白串等を、二月節分の日に限りその年の厄男が皆様に代わりお焚き上げ致し、心願成就を祈る祭祀です。間違えて当日左義長にお焚き上げる物を持参される人がありますが、祭りの意味が本質的に違いますので十分ご理解頂きますようお願いいたします。



▼「焼納感謝祈禱」

随時

長年各ご家庭で大切に保管されてこられた置物、結納飾り、人形などはなかなか粗末に出来ないものです。そのような物に対して感謝の気持ちをお持ちの方に限り、随時御祈禱をさせていただきます。

以上述べましたように、左義長や浄火祭は祭祀の日時を決め、多数参拝して頂きますが焼納感謝祈禱は日時に関係無く個人を対象としておりますので、いつでも御祈禱を受けて頂くことが出来ます。

権禰宜 高田 豊彦

崇敬会入会のご案内

入会の方法

御首神社の御神徳に感謝し当社を崇敬される方は、どなたでも入会出来ます。御参拝の折、社務所にてお申し出下さい。尚、郵便にても受付出来ますので、申し込み用紙を御請求頂ければ、お送りさせて頂きます。お申し込みされますと、神前にて入会報告祭が執り行われ会員証・認定状等が交付されます。

会費（年会費）

- 一、個人会員三千円以上お志し
- 一、家族会員五千円以上お志し
- 一、特別会員一万円以上お志し
- 一、法人会員二万円以上お志し
- 一、名誉会員三万円以上お志し

会員の特典（抜粋）

- 一、神前にて入会報告祭が執り行われます。
- 一、誕生日には特別祈禱が行われ、御祈禱神符が授与されます。
- 一、春の例大祭、秋の崇敬会大祭には御案内申し上げ、参拝の方々には大祭特別祈禱神符及び御供物等が授与されます。
- 一、夏越大祓、年越大祓には御案内申し上げ御祈禱致します。
- 一、参拝の折、会員証を御呈示になられますと、会員は昇殿参拝が許されます。

祭事案内

▼年越大祓 十二月三十日 午後三時

年内に知らず知らず身に受けた罪穢を祓い清める、年越大祓神事を執行致します。

罪穢を託した「人形」を忌火にてお焚き上げし、罪穢を祓い清め、新しい年に幸福を得むとする日本古来からの神事であります。

「人形」は、十二月初旬より社頭に用意致しますので、ご自由にお持ち下さい。

▼元旦祭 一月一日 午前〇時

新年を迎え国の隆昌と世界の平和、氏子崇敬者の繁栄と幸福を祈り元旦祭が斎行されます。引き続き、首上病氣平癒・入試合格・勉強向上・健康・家内安全・厄祓・交通安全・商売繁盛等の御祈禱を執行いたします。

尚、御祈禱を希望される方で、当神社に参拝の困難な方につきまては、郵送にて受付させていただきますので、詳細明記の上、社務所宛お申し込み下さい。



▼左義長 一月十五日 午前十時

▼浄火祭

二月三日 午前十時

崇敬者の方が一年間に奉納された、帽子・絵馬等又御祈禱を受けられ、御神前に奉って頂きました金幣や祈願中等を、その年の厄男がお焚き上げをし、心願成就を願う祭祀であります。

▼祈年祭 二月二十二日 午後三時

▼御鋏神社(境内社)例祭 三月十七日 午後三時

▼例大祭 四月二日 午後三時

桜の花も開花する頃、官司以下祭員、献幣使、随員、伶人、総代多数で厳肅に御奉仕申し上げる年に一度の大祭で、子供神輿の御巡幸や打ち碇子の奉納が行われ、境内の特設の舞台では、演芸等が催され終日賑わいます。尚、当日も平常通り午前九時より厄祓を始め諸祈願を執り行います。

▼南宮神社(相殿)例祭 五月四日 午後三時

▼お田植え祭 六月初旬 権祢宜 高田 豊彦



厄除開運祈禱

男子 大厄 二十五歳・四十二歳
女子 大厄 十九歳・三十三歳

古来より「大厄には諸々の災難、身体の変調のがれ難し」といわれ、年回りに当る方のみならず御家族にまでも災禍が及び何かとままならぬことが多くなりまます。前後三年間に渡り忌み慎まなければなりません。御祈禱を受け毎日を平穩に過ごしましょう。

平成10年厄年に当る生れ年				
		前 厄	本 厄	後 厄
男子	42歳	昭和 33年	昭和 32年	昭和 31年
	25歳	昭和 50年	昭和 49年	昭和 48年
女子	33歳	昭和 42年	昭和 41年	昭和 40年
	19歳	昭和 56年	昭和 55年	昭和 54年

▼本年度崇敬会よりの奉納

- 一、御首神社幟 一對
- 一、末広稻荷神社幟 十対
- 一、境内社社標 二基

以上有難うございました。

御首神社社務所

岐阜県大垣市荒尾町一二八三の一
TEL(〇五八四)九一―三七〇〇